

令和 7 年 6 月 2 6 日
高 齢 福 祉 部
介護予防・地域支援課

令和 6 年度せたがやデジタルポイントラリー事業報告等について

1 主旨

令和 6 年 1 0 月より、区内全 2 8 地区で実施した「せたがやデジタルポイントラリー事業（以下「ポイントラリー」という。）」について、最終アンケートの集計及び専門機関からの事業評価について報告する。また、上記結果を踏まえアプリ改修等を行いつつ、令和 7 年 1 0 月よりポイントラリーを実施する。

2 令和 6 年度の実施状況及び評価等

(1) 参加申込状況（定員 4, 2 0 0 人）

参加者数 2, 6 6 6 人

（男性：1, 0 0 3 人（3 7. 6 %） 女性：1, 6 4 3 人（6 1. 6 %）

選択しない：2 0 人（0. 8 %）

ダウンロード数 2, 4 7 7 人

≪年齢分布：参加者数≫

年齢	70 歳未満	70 歳以上 74 歳未満	75 歳以上 80 歳未満	80 歳以上 85 歳未満	85 歳以上 90 歳未満	90 歳以上
人数	1,133 人	712 人	509 人	225 人	65 人	22 人
割合※	42.5%	26.7%	19.1%	8.4%	2.4%	0.8%

※割合は、少数第 2 位を四捨五入で算出のため合計が 100%にならない場合があります。

≪要介護分布：参加者数≫

要介護	認定 なし	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	2,522 人	19 人	52 人	36 人	20 人	7 人	3 人	2 人	0 人
割合※	94.6%	0.7%	2.0%	1.4%	0.8%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%

※割合は、少数第 2 位を四捨五入で算出のため合計が 100%にならない場合があります。

※年度末で 65 歳到達者 5 名

(2) 最終アンケート結果（有効回答：5 1 7 人）

①参加満足度

満足度	人数	割合
満足	332 人	64.2%
まあ満足	179 人	34.6%
やや不満	6 人	1.2%
不満	0 人	0.0%
合計	517 人	100.0%

※割合は、少数第 2 位を四捨五入で算出のため合計が 100%にならない場合があります。

②－１ 主観的健康観：「現在の健康状態はいかがですか。」

≪申請時点≫

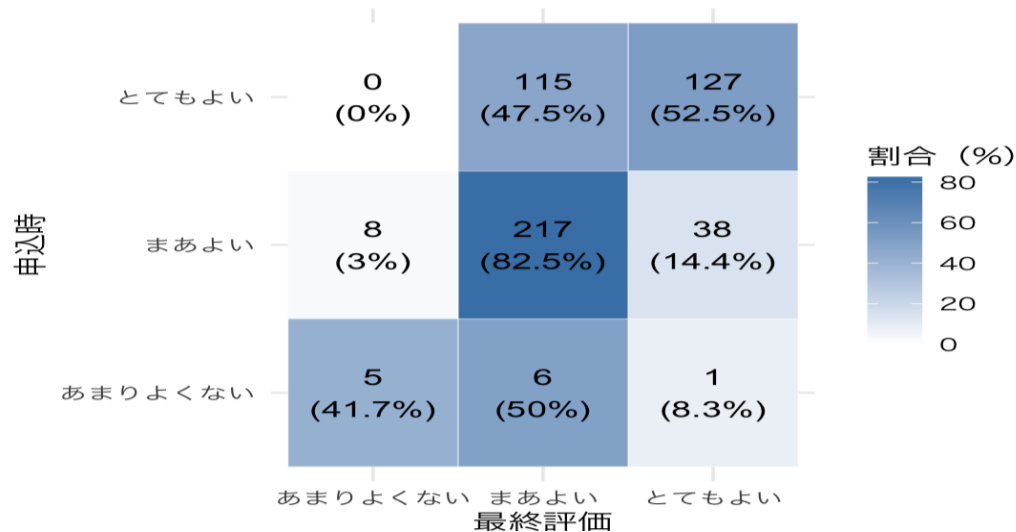
現在の健康状態	人数	割合
とてもよい	242 人	46.8%
まあよい	263 人	50.9%
あまりよくない	12 人	2.3%
よくない	0 人	0.0%
合計	517 人	100.0%

≪最終アンケート≫

現在の健康状態	人数	割合
とてもよい	166 人	32.1%
まあよい	338 人	65.4%
あまりよくない	13 人	2.5%
よくない	0 人	0.0%
合計	517 人	100.0%

※割合は、少数第2位を四捨五入で算出のため合計が100%にならない場合があります。

主観的健康観の変化（ヒートマップ）



②－２ 主観的健康観

「せたがやデジタルポイントラリーに参加したことで、ご自身の健康状態に変化はありましたか。」

健康状態の変化	人数	割合
とてもよくなった	50 人	9.7%
よくなった	266 人	51.5%
変わらない	200 人	38.7%
悪くなった	1 人	0.2%
合計	517 人	100.1%

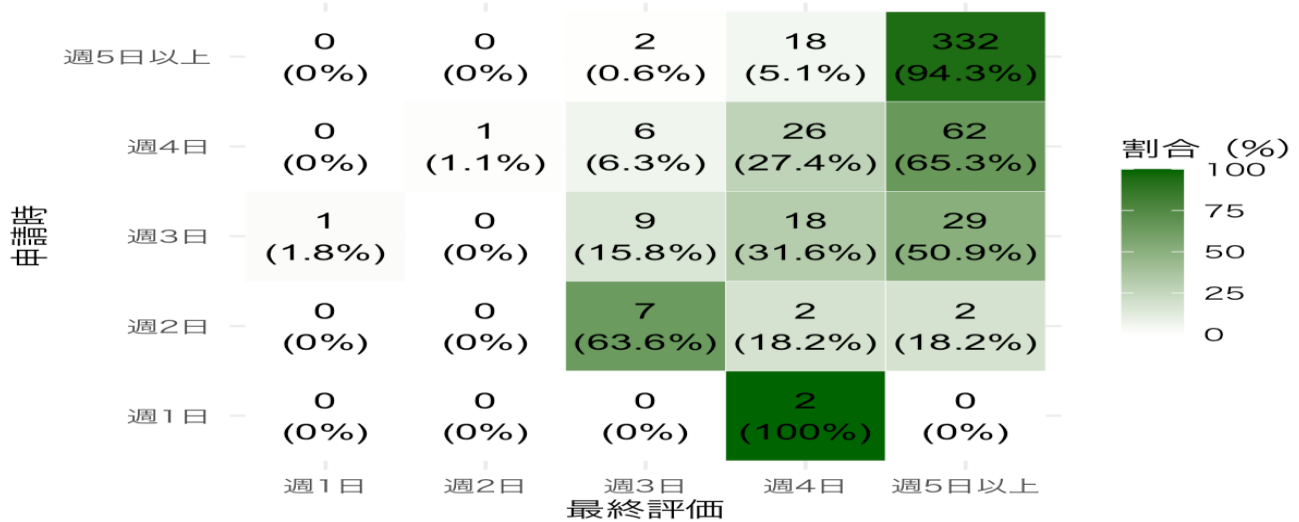
※割合は、少数第2位を四捨五入で算出のため合計が100%にならない場合があります。

≪事業評価≫

○「とてもよい」の割合が申込時の47%に比べ、最終アンケートでは32%と減少している。一方、「まあよい」は51%から65%に増加している。「あまりよくない」の割合はほぼ変わっていない。以上のことから、「とてもよい」・「まあよい」へと下がる傾向が見られるが、いずれも肯定的な評価の範囲内での変化であり、申請時と最終アンケート時で主観的健康観の比較をすると、統計的にも良い状態が維持されている。

③- 1 外出頻度の変化：「およそ週に何日外出していますか。」

外出頻度の変化（ヒートマップ）



③- 2 外出頻度の変化

：「せたがやデジタルポイントラリーに参加したことで、ご自身の外出頻度が増えましたか。」

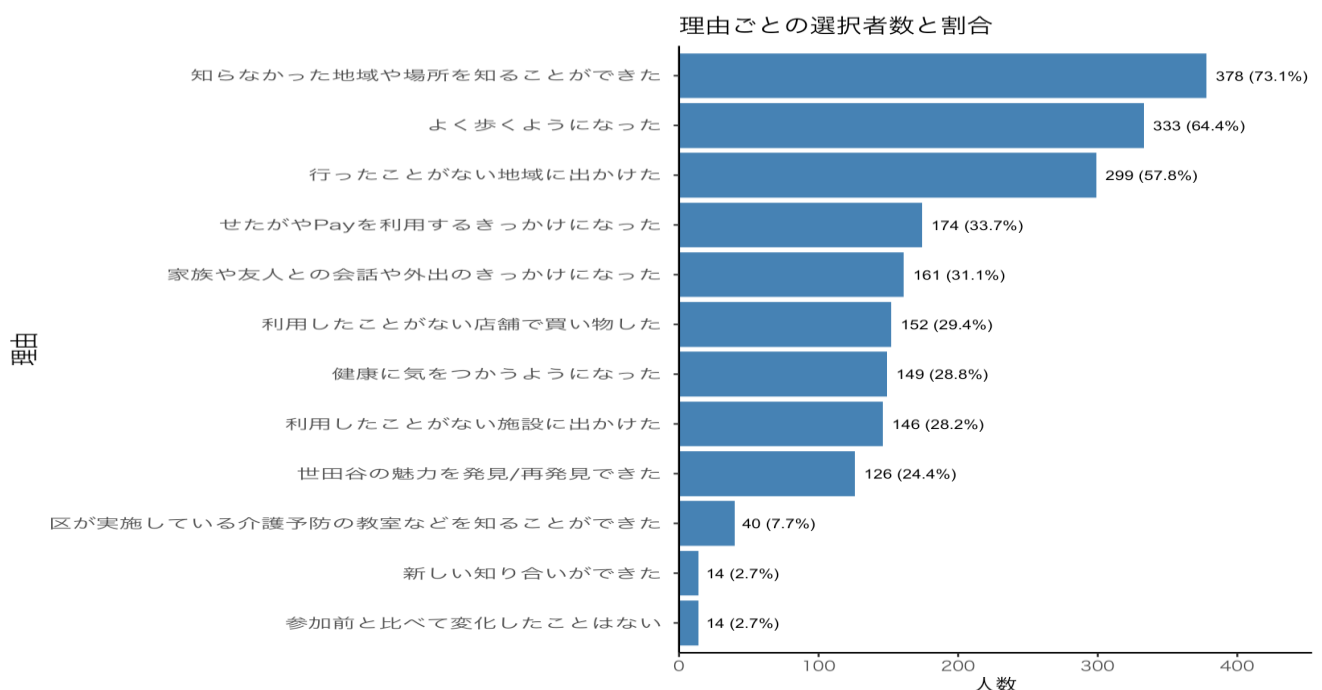
外出頻度は増えましたか	人数	割合
はい	399 人	77.2%
変わらない	112 人	21.7%
いいえ	6 人	1.2%
合計	517 人	100.1%

※割合は、少数第2位を四捨五入で算出のため合計が100%にならない場合があります。

《事業評価》

○申込時「週1日」・「週2日」の外出頻度の人、最終時にはいずれも外出頻度が増加しています。また、「週3日」・「週4日」の外出頻度だった人も、最終時に外出頻度の増加傾向が見られる。「週5日以上」の外出頻度の方も、最終時もほとんど「週5日」を継続している。このことから、全体として外出頻度の増加傾向が示されたと考えられる。

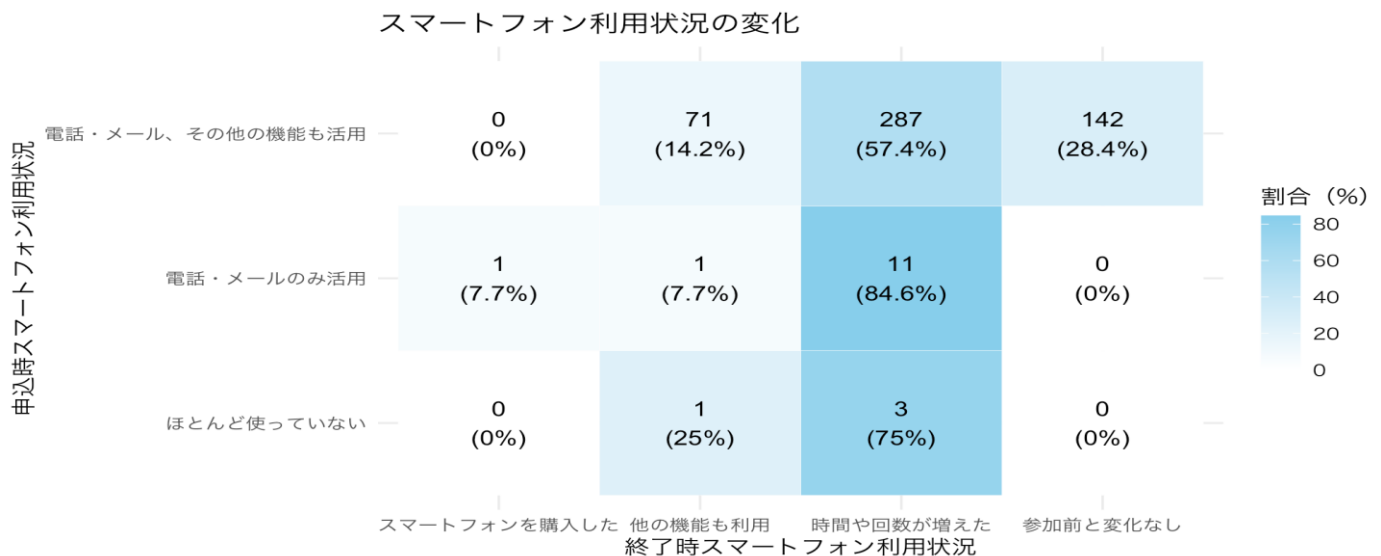
④参加後の変化：「参加したことで変化を感じている項目（複数回答）」



《事業評価》

- 「知らなかった地域や場所を知ることができた」（378人：73.1%）は、参加者がこれまで訪れたことのない場所や地域に足を運んだことを示している。その他にも「利用したことがない店舗で買い物をした」（152人：29.4%）、「利用したことがない施設に出かけた」（146人：28.2%）の回答もあり、新たな活動の場や社会資源へのアクセス機会が創出された可能性があり、当該事業への参加が外出促進に加え、行動範囲の拡大や新たな活動機会の発見に関係したと考えられる。
- 「家族や友人との会話や外出のきっかけになった」は、人間関係の活性化及び交流機会の拡大に貢献したことを示している。また、人数は少ないものの「新しい知り合いができた」は、新たな人間関係の構築に関係し、一部の参加者には交流機会の拡大につながった可能性がある。
- 上記より、社会参加の変化という観点からQOLの維持向上につながる可能性がある。

⑤デジタルデバйд解消：「スマートフォンの活用方法について」



《事業評価》

- 申込時の「スマートフォンの活用状況」と最終アンケートの「スマートフォンの活用状況についての変化」比較すると統計的に有意な関連性が認められる。申込時に「ほとんど使っていない」・「電話・メールのみ活用」と回答した人の多くが最終時には、「時間や回数が増えた」または「他の機能も利用」が増加傾向を示している。また、「電話・メール、その他の機能も活用」していた人も57.4%が「時間や回数が増えた」・14.2%が「他の機能も利用」と回答しており、既存ユーザーにもさらなる活用の広がりがみられた。

3 令和7年度せたがやデジタルポイントラリー事業の実施について

(1) 実施の目的

「2. 令和6年度の実施状況及び評価等」より、高齢者の外出促進・社会参加及びデジタルデバйд解消に効果があるとの評価を踏まえ、令和7年度においても孤立になる危険性がある高齢者が積極的に外出し、歩くことを通じた健康の増進に加え、人との交流、地域活動への参加等に繋がるよう、外出がインセンティブとなるポイントラリーを継続して実施する。

(2) 対象者

65歳以上の区民を対象とする。なお、定員は先着4,200人（28地区×150人程度）とする。

(3) 実施期間

- ・令和7年10月1日（水）から令和8年3月19日（木）まで（約6か月間）とする。
- ・参加申込みは令和7年9月1日（月）から令和8年2月27日（金）までとし、定員に達した場合は期間中でも参加申し込みを停止する。
- ・実施期間は、高齢者が外出しやすい期間に設定するとともに、実施期間外にはオンライン体操教室や楽しくはじめるフレイル予防講座等で高齢者の介護予防・フレイル予防を支援する。

(4) 事業内容

- ・専用アプリをインストールしたスマートフォンを持って外出し、協力店舗や公共施設等のラリースポット（300か所程度を予定）を訪問し、専用アプリ内でチェックインの操作をすることで、事業のポイントを1ポイント獲得する。
- ・ラリースポットについては、高齢者にとって「外出が楽しくなる場所」「高齢者に知ってもらいたい場所」「高齢者が日常的に通う場所」の3つの視点で、店舗、公共施設等から選定する。選定にあたっては区内関係所管に協力を依頼する。
- ・獲得したポイントは、50ポイントごとに500円分のせたがやPayのコインと交換できるようにすることで、区内経済循環にも寄与する。なお、1日10ポイント・1カ月100ポイントを上限とする。

(5) 周知

- ・周知にあたっては、区報や区のHP、ポスター・チラシのほか、社会福祉協議会のメールマガジンなどを活用する。また、あんしんすこやかセンターに協力を依頼し、訪問活動と合わせて外出を控えがちな高齢者への周知を行う。
- ・要支援等認定者への参加をより促すため、地域デイサービス事業の活動団体、要支援者を対象とする通所系サービス事業所にチラシを配布する。
- ・令和7年9月以降に、各地区において説明会等を実施し、事業内容の説明とともに専用アプリのダウンロード方法や使用方法等について支援するとともに参加者同士が交流し、情報交換等ができるような場の実施についても検討している。

4 令和6年度からの変更点

- (1) アプリの使用開始までの時間を短縮するため、アプリのダウンロードから承認確認までのフローを変更する。
 - ・令和6年度は申込みフォームの入力後、翌日以降に区で審査を実施し、アプリのダウンロードURLを返送していたため、申込み数とダウンロード数に差が生じた。
 - ・URLを記載したメールが届かないとの声が多数あったため、令和7年度はアプリダウンロード後にアプリ内で必要事項を入力し、速やかにアプリを使用できる運用に変更することでダウンロード件数の増加を目指す。
- (2) ユーザーの利便性向上及び効果検証の精度・幅を広げることを目的に、アプリ機能を拡充する。(別紙)
 - ・歩数の取得及びトップページへの表示
 - ・ランキングの根拠となる総チェックイン数の表示
 - ・チェックイン履歴表示の変更
 - ・ポップアップ表示によりユーザーへの通知方法を強化
- (3) 令和6年度実施した介護予防教室に参加した方へのボーナスポイントに加え、地域に目を向けてもらえるように地域イベント等への臨時ラリースポットを設定し高齢者の介護予防、フレイル予防の更なる促進を図る。
- (4) 事業評価の拡充
 - ・新たに取得できる歩数データと既存の研究データ等を組み合わせ、参加者の活動量の変化や医療費等への影響に関する考察を行う。

5 その他

- (1) ラリースポットの依頼、説明会実施、コールセンター等の事業運営や、せたがやPayのコインの交換については、民間事業者等へ委託する。
- (2) 参加者にはポイントラリー専用のリストストラップを配付することにより、高齢者同士の交流・地域参加促進にも寄与する。

6 所要経費

97,201千円

- ・特定財源として97,201千円

※都補助金97,201千円(子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業10/10)

7 今後のスケジュール(予定)

令和7年 9月1日 事業周知開始(区のおしらせ・区ホームページ掲載、ポスター掲示、チラシ配布等開始)

申込み開始(～2月27日)

9月8日～ 説明会実施

10月1日～ 事業開始(～3月19日)

①



ホーム画面に、保有ポイント数・月間ランキングに加え、今日の歩数、ランキングの元となる月間チェックイン数を表示します。

※歩数の取得・表示は、別アプリからの情報の連携を許諾いただいたユーザーのみ

※画像は開発中のものにつき、実際の仕様と異なる場合があります。

②



移動履歴画面に、歩数を表示する折れ線グラフを追加します。

「日別」はその日のチェックイン数、歩数、チェックイン履歴を表示します。

「累計」は参加開始してからその日までの累計チェックイン数、月間チェックイン数、累計歩数、月間歩数を表示します。

※画像は開発中のものにつき、実際の仕様と異なる場合があります。

③



アプリを開いた際にポップアップ通知を表示することで、ユーザーへの通知方法を強化します。

トイレ利用可 

梅ヶ丘中学温水プール

＼チェックインお疲れ様です／

チェックイン済み



日々の運動で
健康な身体づくりを！

水泳は負荷がかかりにくい全身運動です。一般利用も可能なので、ぜひお試しください。

🏠 松原6-5-11

🕒 9:00～21:00

※温水プールの利用時間は
個人利用案内をご覧ください

📅 休館日なし

※年末年始：12月29日～1月3日

※その他保守点検により
臨時休館することがあります

🔗 <https://xxxxxxx.com>

🏠 ホーム  ポイント  移動履歴  マイページ

ラリースポット紹介画面に、施設の希望により公式ホームページ等のURLを掲載します。

※画像は開発中のものにつき、実際の仕様と異なる場合があります。